



# みなみやま

発行責任者 / 太田信吉 編集発行 / 愛知国際病院内・病院だより委員会  
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 ☎(0561)73-7721

## 患者さんから教えられたこと

・・・親と思って接する

院長 太田信吉

ホスピスや一般病棟でみなさまと一緒に過ごし、時にはその最後の大切な時間を一緒に過ごさせて頂きます。横に座ってお話ししたり、診察させて頂いたりして慌ただしい中にもその出会いを大切に過ごさせて頂いています。

わたしが医師として人に接するとき、自分の親だったらどうするか、という思いがあります。大学を卒業して3年目に、乳がんと胆のう結石を持った患者さんに両方の手術をお勧めした時、その方から「2カ所も切るなんて嫌だな。先生のお母さんだったら勧めますか？」と聞かれました。

患者さんを自分の肉親とって治療法を考えるということを教えられてハッとしました。その時は「そうするでしょう。それが医療的に良いと信じていますから」と答えま

した。その方は2つの手術を受けて下さり、回復まで少し時間がかかったものの元気になりました。それで良かったと今でも思いますが、でもハッとさせられたこの問いかけはいつもわたしの基本にあります。

また妻の手術を執刀した時のことです。手術が無事に終わって大変だったね、と言うと「大丈夫よ、あなたを信頼していたから」と言ってくれホッとしたのでした。手術をする方、受ける方、双方向の信頼が大切ということを教えられました。

わたしの母は、今年の3月2日、91歳で天に召されました。8年前、脳梗塞で倒れ、

3年前には再度の脳梗塞発作を

起こし、ここ1年以上は入院生活となっていました。覚悟はしていましたが、愛媛県という遠方でその場には立ち会えませんでした。深夜、



兄からの電話にもしや、と思いましたが、「母がいけなんだえ！」という声に、悲しみよりも「良く頑張ったね、お疲れさまでした」という気持ちになりました。不思議に落ち着いていました。

兄がわたしに予定を合わせてくれ、また病院のスタッフや患者さんも調整を下さったので通夜と葬儀にはきちんと出ることができました。兄は母が病気になってからも本当に精一杯世話をしていたので別れを悲しんでいました。私はそんな兄の姿を見て涙が流れ

ました。わたしから母へは、「生んでくれて、そして育ててくれてありがとう。さんざん心配をかけたね。ゆっくりとお休み下さい。倒れてからは体が思う様にならなくて歯がゆかったらうね。もう自由だね。これからも見守っていてね。」と声かけして別れました。これからも多くの患者さんと出会う中で、母に対してするように接することで互いに信頼する関係ができるのではと思っています。



## 病院で行う検査紹介

### その3

副院長 河村 健雄

#### 検 尿

腎臓は血液を濾過して体内の老廃物を尿として体外に排出するとともに、必要なものを再吸収します。腎臓や尿路のどこかに異常を生ずると、頻尿になったり、逆に尿量が減って体がむくんだりします。腎臓病の早期発見には尿の色に注意することが重要です。尿が赤くなったり、泡だって泡がなかなか消えないときは病院を受診してください。

検尿では以下のような項目を検査しています。

①尿比重：尿の濃さを調べます。健康時には比重は 1.010～1.030 です。

1.010 以下の場合には尿濃縮力が低下して水分が多く排泄している状態です。腎不全の治療開始後の回復期あるいは尿崩症の可能性があります。

1.030 以上の場合には腎不全による乏尿やネフローゼ症候群、糖尿病、心不全、脱水状態などの可能性があります。

②尿蛋白：タンパク質は腎臓の糸球体で濾過されますが、尿細管で再吸収されて血液中に戻るため、健常時では尿に含まれて排泄されません。

腎臓に障害があるとタンパク質は尿細管で再吸収されず、尿中に漏れ出てしまいます。

尿管や膀胱などの異常で出血した場合も血液中のタンパク質が尿に混じってしまいます。

③尿糖：血糖値が160～180mg/dlを超えると、腎臓での糖処理能力が限界となり尿中に糖が漏れ出てきます。

④尿潜血反応：健康な人でも1日に約2万個の赤血球が尿中に排泄されていますが、腎臓や膀胱、尿道などに異常があるとこの量が増えます。量が非常に多いときは肉眼でわかるほどに尿の色が赤くなります。ごくわずかな血液の混入を確認するのが尿潜血反応です。

⑤b尿沈渣：尿を遠心分離器にかけ、沈殿してくる赤血球や白血球、細胞、結晶成分などを顕微鏡で観察します。この検査は尿蛋白や尿糖、膿栓血などの検査が陽性の場合に行われます。それぞれの成分が多いときに考えられる病気は以下の通りです。

**赤血球**→急性糸球体腎炎、腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、腎腫瘍、尿路結石など

**白血球**→腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎など

**円柱細胞**→慢性腎炎、糸球体腎炎、腎盂腎炎、ネフローゼ症候群など

**上皮細胞**→膀胱炎、尿道炎など

**結晶成分**→尿路結石、急性肝炎、閉塞性黄疸、痛風など



### 賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回の「みなみやま」をお送りいたします。）

**入会  
方法**

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

一口 1000 円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上をお願いいたします。）

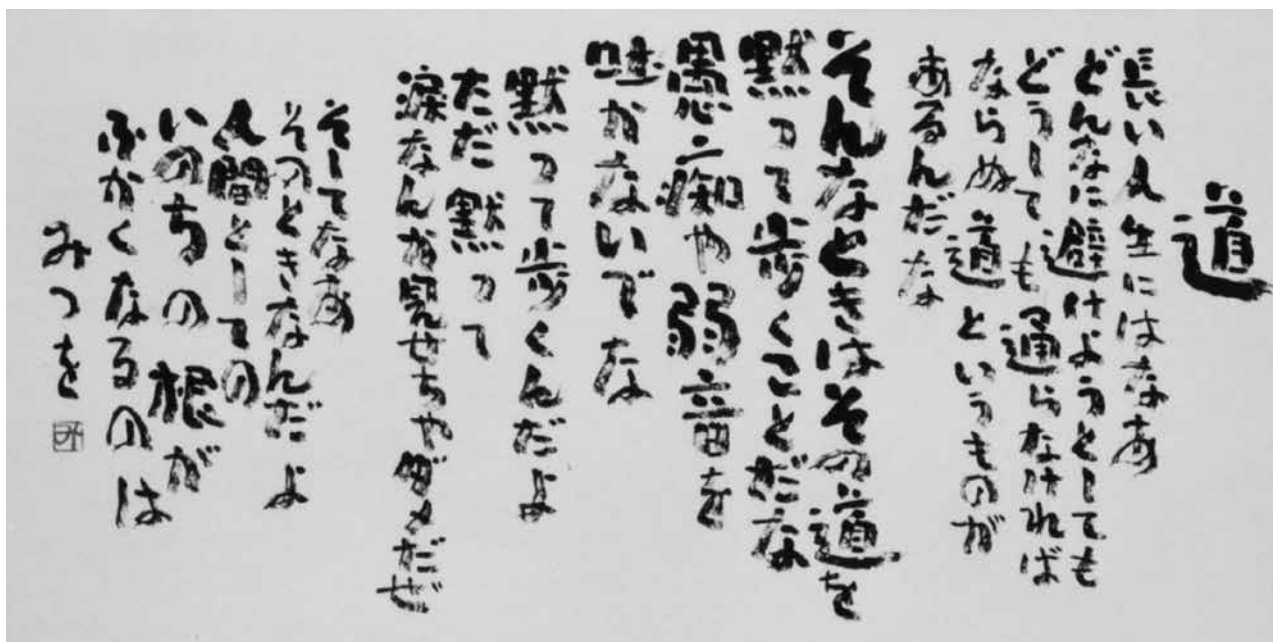
# 初穂の言いたい放題

小児科 井手 初穂

## いのちの根

その昔、私が色々なことに行き詰まっていた頃に、「相田みつを」の詩に出会いました。どの詩もその丸い字と共に私の心に入ってきました。その中で、その頃は何回読んでも、「そんなの無理、できるわけない」と思いながら読んだ詩があります。

詩を読んで「無理、無理」と思っていたら、なんとこの詩が偶然、何かの記念品として額に入れて我が家に届きました。いささかビックリしながら、運命を感じました。それからずっとリビングにこの詩は飾られています。



相田みつを著「しあわせはいつも」（文化出版局刊）より  
©相田みつを美術館

### 「いのちの根がふかくなる」

年齢を重ね、最近その意味が少しずつ解ってきます。でも、達観はできません。いつまで経っても、愚痴や弱音を吐いて、葛藤しながら、もがいている自分が情けなくなります。それでも、かつては「無理、無理」とつぶやきながら読んでいたこの詩を、「そうだよね

えー。そうなんだけどねー。まだ私にはできないよ」と言いながら読んでいます。それなりに「いのちの根」も深くなってきていると思いますが、少し根が深くなると、もっと強い風が吹いて、まだまだその根が弱いことを感じます。

人生を重ねるとということはそういう事で、  
年を重ねると誰もが何かしら抱えていて、に  
こやかにたわいもない話を交わす裏側で、耐  
えて歩いている道を持っているものなのです。  
自分だけが不幸と感じている人にこそ知って  
ほしいのは、この詩のように耐える生き方で  
はなく、言わないだけで、誰もが何かしらに  
耐えながら生きているということです。

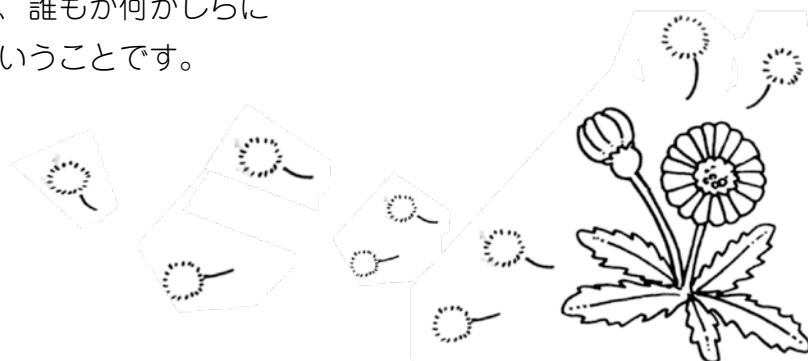
最後にもうひとつ。

「しあわせは

いつも じぶんの

こころが きめる」

(相田みつを著「しあわせはいつも」より)



## NEO!! つぼ健康法 (6)

東洋医学科 鍼灸師 神 谷 陽 歩

みなみやま読者のみなさまこんにちは。

今年は早々に雪が降り、いつもに増して寒  
い冬でしたが、ようやく春の暖かさを感じる  
時期となりました。前回のテーマ、風邪予防  
の健康法はいかがでしたか。風邪は万病の元  
ぜひお試しください。

今回のつぼ健康法のテーマは、からだの疲  
れです。

肉体的な疲れが蓄積すると気力、集中力が  
損なわれ、精神的にも疲労します。そのよう  
な日常生活でたまってしまった疲労には、つ  
ぼ健康法が効果的です。ただし、疲労感が長  
く続いている場合や徐々に強くなる場合など  
は、内臓疾患によることがありますので注意  
が必要です。早めに医師の診察を受けましょ  
う。ここでは、単なるからだの疲労について  
のつぼ健康法についてご紹介します。

東洋医学では、からだは元気に動くのは  
「気」の力によるものと考えます。「気」とは、  
呼吸や消化、吸収その他にも親から受け継い  
だものから成りますが、その「気」が少なく  
なると元気が減退し、疲労しやすくなると考  
えます。そこでつぼ健康法では、「気」を補  
うことを目的とします。

基本的なつぼは、みぞおちとおへそを結ん  
だ線の中央「中脘」、へその指二本分真下「気  
海」、手首甲側の中央「陽池」、腰の第一腰椎  
棘突起下から左右外側に指二本分「三焦俞」  
を使います。その他にも足裏で足指を曲げ  
ると最もくぼむ場所「湧泉」、手のひらの中央  
でこぶしを握ると中指と薬指があたる場所  
の中間「労宮」もお勧めです。

疲労の蓄積は様々な病気の引き金になりま  
す。つぼ健康法も効果的ですが、まずは日頃  
から十分な睡眠を取り、生活のリズムを整  
えることを心がけましょう。

## チャブレン中井の日々雑感 (16)

チャブレン 中井 珠 恵

暖かくなったかと思うとぐっと寒くなるという日を繰り返しながらようやく春を迎えています。この「日々雑感」を書いている本日は、木蓮が咲きほころんでいます。

木蓮を見るとずいぶん前にお目にかかった患者さんを思い出します。まだ冬の寒い頃、入院した翌日にお部屋へ伺いました。するとその方は冴えない顔でおっしゃいました。

「ホスピスは、木目調の壁に障子つきの広い窓があっていいですね。たしかに素敵です。でもこの（エアコンの）人工的な風はいけません。それにこの壁に囲まれていると窮屈で仕方ありません。ここで私は何もできずに衰えていくばかりです」。

実は、この方は入院なさる数日前から食が細くなり、ご自分の体力の衰えを感じておられたようです。今までのように自由に動くことが難しくなり、自室でじっとしておられたことで、閉塞感を感じておられたようです。「ホスピスへ来たら楽に穏やかに過ごせるよ」と言われていたことにずいぶん期待もしておられたようでした。

1週間ほどして少し暖かくなりました。その方のお部屋へ伺うととても明るい顔になって質問されました。

「見て下さい。私の部屋の窓から見えるのは、あれは何の樹ですか？」

「木蓮だったと思います」と、答えました。すると、

「やっぱりそうですか。見て下さい。あそこにある木蓮の枝の先が膨らんでいる。つぼみですね。2月は『芽吹きどき』っていうんです。ああ、すばらしい。昨日はつぼみがあるなんて全然気がつかなかったのに。今日一日でこんなに大きく膨らんで。あの中でのちが芽生えようとしているんですね。本当にすばらしい」。

それまで部屋にこもりっきりだったその方は、看護師さんに外に出てみたいとおっしゃり、散歩に出られました。散歩から戻ってこられたその方はとても明るい笑顔になりました。

元気でおりますと、寒い冬から春となり木々や草花が芽吹いていくのを喜びながらも、季節の移り変わりにとらえるだけです。しかし病いの中にある方にとって芽吹きは、いのちの芽生えであり、生きる力そのものです。そしてその力によって人間も生かされているということ、病の中にある方をおして教わりました。



## 1) にっしん平和のつどい

日時：2015年7月25日(土)、26日(日)  
10:00～16:00

場所：日進市立図書館一階

内容：読み聞かせや展示、合唱など、日進市と市民団体による平和を考える企画が目白押しです。

アンネのバラの植樹や、市民や中学生から寄せられた平和のメッセージの展示もあります。

\* 25日(土) 13:30 から上野照子さん

## AHIからのお知らせ

と渡部朋子さんのお話し会があります。

上野さんは看護師として原爆を体験されました。娘の渡部さんは広島でいろいろな平和活動を進めていらっしゃいます。

AHIの研修生は、毎年広島でお二人にお世話になっています。

入場無料・出入り自由



## 2) 想いを伝える遺言書の書き方講座

日時：2015年5月23日(土)  
10:00～12:00

場所：アジア保健研修所(AHI)

講師：平良一器(司法書士)

定員：20名(参加無料、予約をお願いします)  
自分の「最期」をどう迎えるか。それは年齢に関係なく、すべての人にとって大きな課題です。その時のために、心の準備もしたいし、残していくものをどうするかも考えたい。

できれば大切な人たちに「ありがとう」の言葉や、心からのメッセージも伝えられたら…。

「遺言書」を書くことは、自分の人生を振り返り、この社会の中での自分を考えることでもあります。

講師の平良一器(たいらかずき)さんは、元AHI職員で、今は司法書士として活躍中です。やさしい言葉で、「遺言書」の考え方や書き方をわかりやすく教えてもらいます。

## 3) 相続登記個別相談会

日時：6月20日(土) 10:00～12:00

場所：アジア保健研修所(AHI)

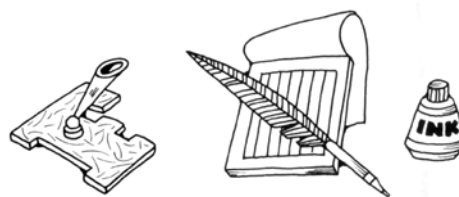
講師：平良一器(司法書士)

参加費：無料、ひと組30分(予約をお願いします)

ずっと気になっていたけど、どこに相談していいのかわからなかった方、自宅近くの窓口ではなかなか相談しにくいという方にもお奨めです。

自分で書いた遺言書へのコメントもしてもらえます。

2)3)のお申込みはアジア保健研修所(AHI)  
電話：0561-73-1950



## 愛泉館からのお知らせ

2015 年度が始まりました。今年度も愛泉館では季節折々の行事を毎月開催いたします。

- 4月 お花見 お琴の演奏を聴きながらお抹茶をいただきます。
- 5月 運動会 玉入れや大縄引きなどの競技の他に、赤勝て！白勝て！と応援にも熱が入ります。
- 6月 スタッフ演奏会 愛泉館スタッフが様々な楽器演奏や歌を披露します。特別ゲストの登場もお楽しみに。
- 7月 七夕 七夕飾りの下でスイカ割り。今年の願い事は何でしょう…
- 8月 夏祭り ゲストの皆様、ご家族様、地域の皆様が集い、夏の一夜を楽しみます。
- 9月 敬老会 幼稚園の園児を招き、ゲストの皆様のご長寿をお祝いします。
- 10月 遠足 小グループに分かれて、紅葉鮮やかな秋の街へお出かけです。

11月 文化祭 パッチワーク・布ぞうり・書道・絵手紙…ゲストの皆様の素晴らしい作品が館内に展示されます。

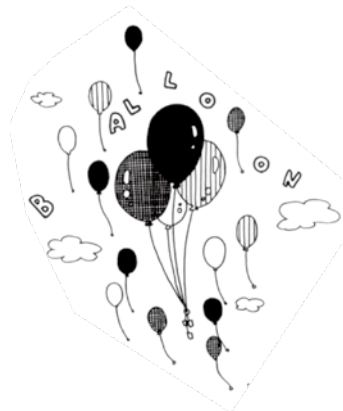
12月 紅白歌合戦 ゲストの皆様が紅白に分かれ、一年の歌い納めに大物歌手さんからの衣装で登場。自慢の美声を聴かせてくださいます。

今年度も季節の行事を通して、ゲストの皆様の笑顔に、たくさん出会えることを願っています。

デイケアは体験でのご利用も可能です。お気軽にお問合せください。

行事やプログラムを支えていただくボランティアさんも募集しています。

老人保健施設愛泉館 0561 - 74 - 1711



- ・無事、新年度を迎えることができました。地域のみなさまの健康を守る医療機関として、社会的責任を果たしてまいりたいと思います。
- ・ご迷惑をおかけしていた病院本館、ホスピス、愛泉館の改修工事が終了しました。壁面の塗装、屋根、サッシ、愛泉館は内装も若干改装しています。

これまでお寄せ頂いているご意見・ご感想、大変感謝致しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

宛先は

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 愛知国際病院内「みなみやま」編集部

電子メールの場合、アドレスは m.kondo@aisen-kai.jp です。お待ちしております。

編集長 近藤正嗣